

## 人類は滅びるのか

2月24日世界に衝撃が走りました。ロシアがウクライナに侵攻をはじめたのです。

ウクライナは惨禍に見舞われ、300万人を上回る人々が難民となり国外に脱出しています。建物が破壊され、多くの子供たちが犠牲になっており、心を痛める状況になっています。



アメリカとNATOも事態を収めたいと願っていますが、ロシアはNATOが介入するならば、核戦争も辞さないという強い決意を示しているため、手出しが出来ない状況になっています。

聖書によると終わりの日に「北の王」また「マゴグのゴグ」とも呼ばれ、「要害を神」とする軍事国家が登場し、拡張政策をとって神に敵対することが予告されています。まさにロシアがその王国であると言えるでしょう。

ウクライナへの侵攻はその一步に過ぎず、イランやイラク、シリアと結びつき、イスラエルを包囲することが聖書の中で預言されています。

その時、全世界を巻き込む大艱難が起きることを聖書は預言しており、次のように表現されています。

「その時、世の初めから今に至るまで起きたことがなく、いいえ、二度と起きないような大患難があるからです。実際、その日が短くされないとなれば、肉なる者はだれも救われませんでしょう。しかし、選ばれた者たちのゆえに、その日は短くされるのです。」 マタイ 24:21.22

核戦争が起きるのでしょうか。神がおられないとするならばその答えははっきりしています。

明らかに人類は「火のようなものを蓄えてきた」と言えるでしょう。

核戦争の危機は幾度となくありました。「キューバ危機」が有名ですが、それ以外にも幾度となく危機一髪の状態に陥っています。最近でもトランプ大統領の下で危機になったことを高官が明らかにしています。

もし神がおられないならば人類は遅かれ早かれ滅んでしまうでしょう。あるいはすでに滅んでいたかもしれせん。

## 神の憐れみ

聖書によると人類の最初が良いものでした。しかし蛇（サタン）によって惑わされ罪を犯した時、人類は滅びに定められました。神は人類を見捨てることもできましたが、見捨てるのではなく救出することを決意します。

そして人類を救うためにメシアを遣わすことを決定します。そのことが創世記で次のように語られています。

「そしてわたし（神）は、お前（蛇 サタン）と女（エバ 人類）との間、またお前の胤と女の胤（メシア）との間に敵意を置く。彼はお前の頭を砕き、お前は彼のかかとかみつくだろう」。創世記 3:15

ここで 女の胤（メシア） が登場することを予告しています。  
「彼（メシア）はお前（蛇 サタン）の頭を砕き」とあるように悪の勢力を一掃します。  
人類を滅びと悲しみから救出するのです。

次の表現も興味深いものです。  
「お前は彼のかかとかみつくだろう」とあります。これはどういうことでしょうか。

毒蛇が人のかかとかみついで苦しめるように、サタンがメシアにかみつき、メシアを苦しめることが予告されていたのです。

メシアは実際苦しみに遭ったのでしょうか。また他の聖句で予告されていたか。今日は主にそのことについて考察したいと思います。

### 詩編で予告されていた苦しみ

聖書の中に「詩編」と呼ばれる書があります。  
そこにはダビデをはじめ幾人かの詩が収められています。魂の告白とも呼べる詩があります。  
メシアが経験するであろう敵対と苦しみも語られています。

そのいくつかを取り上げてみましょう。

#### 詩編3編

エホバよ、なぜわたしに敵対する者が多くなったのですか。  
なぜ多くの者がわたしに向かって立ち上がるのですか。  
多くの者はわたしの魂について言います、  
「彼のためには神による救いはない」と。

わたしを取り囲んで勢ぞろいした  
幾万の民をもわたしは恐れません。

エホバよ、どうか立ち上がってください。わたしの神よ、わたしを救ってください。

あなたはわたしのすべての敵のあごを打ってくださらなければなりません。  
邪悪な者たちの歯を砕いてくださらなければなりません。

#### 詩編6編

エホバよ、怒りのうちにわたしを戒めないでください。

激しい怒りのうちにわたしを正さないでください。

エホバよ、恵みを示してください。わたしは衰えてゆきます。

エホバよ、わたしをいやしてください。わたしの骨はかき乱されたからです。

そうです、わたしの魂はひどくかき乱されました。

ですが、あなたは、ああエホバよ、— いつまでですか。

エホバよ、帰って来ててください。わたしの魂を助け出してください。

あなたの愛ある親切のゆえにわたしを救ってください。

死にあっては、あなたのことを語り告げる[人]はいないからです。

シェオルにあっては、だれがあなたをたたえるのでしょうか。

わたしは自分の溜め息でうみ疲れしました。

わたしは夜通し寝いすを漂わせ、  
寝床をわたしの涙であふれさせます。

わたしの目は煩いのために弱り、  
わたしに敵意を示すすべての者たちのために老い衰えました。  
有害なことを習わしにする者は皆、わたしから離れ去れ。  
エホバはわたしの泣く声を必ず聞かれるからだ。  
エホバは恵みを求めるわたしの願いを確かに聞いてくださり、  
エホバご自身がわたしの祈りを受け入れてくださる。  
わたしの敵はみな大いに恥じ、かき乱される。  
彼らは引き返し、瞬く間に恥じるであろう。

#### 詩編13編

エホバよ、いつまでわたしをお忘れになるのですか。永久にですか。  
いつまでみ顔をわたしから覆い隠されるのですか。  
いつまでわたしは自分の魂に抵抗を置き、  
昼間はわたしの心に悲嘆を[置く]のでしょうか。  
いつまでわたしの敵はわたしの上に高められるのですか。  
[わたしを]ご覧ください。わたしの神エホバよ、わたしに答えてください。  
わたしの目を輝かせてください。わたしが死の眠りに落ちることのないため  
です。  
わたしの敵が、「彼に勝った」と言うことのないためです。  
わたしに敵対する者たちが、わたしがよろめくといって喜ぶ[ことのないため  
です]。

#### 詩編18編

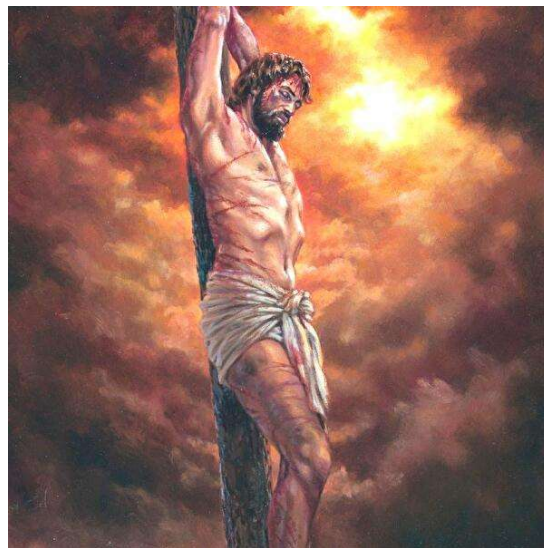
死の綱が私に巻き付き、  
どうしようもない人たちの激流に私はおびえた。  
墓の綱が私に絡み付き、  
死のわなに私は直面した。

#### 詩編22編

私の神、私の神、なぜ私を見捨てたの  
ですか。  
なぜ救ってくださらないのですか。  
なぜ苦悩の叫びを聞いてくださらないの  
ですか。  
私の神、昼に呼び続けても、あなたは答え  
ません。

—  
だが、私は虫けら。人間ではない。  
人々にあざけられ、民に軽蔑された。  
私を見る人は皆、あざ笑う。  
冷笑し、あざけて頭を振る。  
「彼はエホバに身を委ねたのだ。その方に  
助け出してもらえ。  
救ってもらえ。その方のお気に入りなのだ  
から」。

—  
多くの若い雄牛が私を取り囲み、  
バシヤンの強力な雄牛が私を取り巻く。  
口を大きく開けて私に向かってくる。  
獲物を引き裂くほえるライオンのように。  
私は水のように注ぎ出され、  
骨は全て外れた。  
心はろうのようになり、



刑柱上で苦しみを味わい人類を救った



私の奥深くで溶けてしまった。  
私の方は乾き切り、陶器のかけらのようになり、  
舌は歯茎にくっつく。  
あなたは死の土ぼこりの中に私を置く。  
犬が私を取り囲み、  
悪党のように詰め寄ってくる。  
ライオンのように私の手足にかみつく。  
私は自分の骨を全部数えることができる。  
彼らは私を眺め、じっと見つめる。  
彼らは私の服を分け合い、  
私の衣服のためにくじを引く。  
エホバ、遠く離れたままでいなくてください。  
私の力である方、急いで私を助けてください。  
救ってください。私を剣から、  
かけがえのないこの命をどう猛な犬から。  
救ってください。ライオンの口から、野牛の角から。  
私に答え、救ってください。

### 詩編31編

エホバ、親切を示してください。私は苦しんでいます。  
苦悩のために衰えました。この目も、全身も。  
私の命は悲嘆によって尽きる。  
私の年月も、うめきによって。  
私の力は過ちによって失われ、  
私の骨は弱くなる。  
私は敵対者全てに、  
とりわけ隣人たちにあざけられ、  
知人に恐れられる。  
人前で私を見る者は逃げていく。  
私は彼らの記憶になく、忘れ去られた。死んでいるかのように。  
私は壊れたつぼのよう。  
私は悪いことをたくさん言われ、  
恐怖に取り囲まれた。  
彼らは団結して詰め寄り、  
私の命を取り去ろうとたくらむ。  
エホバ、あなたに頼ります。  
私は言います。「あなたは私の神です」。  
私の日々はあなたの手の中にあります。  
敵から、迫害する人から私を助け出してください。

### 詩編69編

泥の中から助け出してください。私が沈まないように。  
助け出してください。私を憎む人たちから、深い水から。  
洪水で私を流し去らないでください。  
深い水に私をのみ込ませないでください。  
私の上で井戸が口を閉じないようにしてください。  
エホバ、答えてください。あなたの揺るぎない愛は良いものです。  
あなたの深い憐れみに従って、私の方に向いてください。  
顔を隠さないでください。  
急いで答えてください。私は苦しんでいます。  
私に近づいて、助け出してください。  
敵から私を救ってください。  
あなたは知っています。私が非難され、恥をかき、辱めを受けているのを。

あなたは知っています。私の敵全てを。  
私は非難されて、心が傷つき、傷は癒えない。  
同情を期待したが、誰も同情してくれなかった。  
慰めを期待したが、誰からも得られなかった。  
かえって、食べ物として毒が与えられ、  
喉が渴いているのに酔が与えられた。

#### 詩編88編

エホバ、私の救いの神。  
昼、私は叫びます。  
夜、あなたの前に行きます。  
私の祈りがあなたに届きますように。  
助けを求める叫びに耳を傾けてください。  
私は災難続きで、  
命は今にも墓に落ちそうだ。  
すでに、墓穴に下る人の中に数えられている。  
無力な人のようになり、  
死者と共に放置された。  
殺されて墓に葬られた人のように。  
その人を、あなたは思い出しも、  
支えもしない。  
あなたは私を最も深い墓穴に置いた。  
暗い場所、大きな底知れぬ深みに。  
あなたの激しい怒りが私にのしかかる。  
あなたの荒波に私は圧倒される。  
あなたは私の知人を私から遠ざけた。  
私のことを忌まわしく思わせた。  
私は捕らえられていて逃げられない。  
私は苦悩し、目が疲れ果てた。  
エホバ、あなたに一日中呼び掛けます。  
あなたに向かって両手を広げます。

エホバ、なぜ私を退けるのですか。  
なぜ顔を隠すのですか。  
私は若い時から苦しんできました。  
今にも死にそうです。  
何も感じなくなりました。  
私に恐ろしいことが起きるのを、あなたは防ぎませんでした。  
あなたの燃える怒りが私を圧倒します。  
あなたからの恐怖が私を打ち砕きます。  
その恐怖が一日中、水のように押し寄せ、  
四方から私に迫ります。  
あなたは私から友や仲間を遠ざけました。  
暗闇が私の友となりました。

魂の叫びが聞こえてくるのではないのでしょうか。  
実際メシアとして登場したイエスは刑柱上の苦しみの中で詩編22編の言葉を語りました。  
その苦しみの中に、メシアの苦悩と神に対する信仰を見いだすことができます。

#### イザヤ53章の預言

さらに有名な預言としてイザヤ53章もあげることができます。

私たちから聞いた事に誰が信仰を持ったでしょうか。  
エホバの力は誰に示されたでしょうか。  
彼は小枝のように、乾き切った地面の中の根のように、人の前に生え出る。  
堂々たる姿はしておらず、輝かしくもない。  
私たちは彼を見ても、その容姿に引き付けられない。  
彼は軽んじられ、人々に避けられた。  
苦痛を味わうことになっており、病気をよく知っていた。  
顔が私たちから隠されているかのようだった。  
彼は軽んじられ、私たちは彼を無視した。  
彼はまさしく私たちの病気を担い、  
私たちの痛みを負った。  
しかし私たちは、彼が災厄に遭い、神に打たれて苦しんでいると考えた。  
彼は私たちの違反のために刺し通され、  
私たちの過ちのために打ち砕かれた。  
彼が処罰を受けたので私たちに平和がもたらされ、  
彼の傷のおかげで私たちは癒やされた。  
私たちは皆、羊のようにさまよい、  
それぞれの道を歩んでいた。  
エホバは私たち皆の過ちを彼に負わせた。  
彼は虐げられ、苦しめられるままになったが、  
口を開こうとしなかった。  
羊のように、殺されるために連れてこられ、  
毛を刈る人たちの前で黙っている雌羊のようになり、  
口を開こうとしなかった。  
彼は不当な裁きを受けて取り去られた。  
誰が彼の家系の詳細を知ろうとするだろうか。  
彼は地上から除かれた。  
私の民の違反のゆえにむちで打たれた。  
悪人と共に墓を与えられ、  
裕福な人と共に葬られた。  
何も間違ったことをしておらず、  
欺きを語ったこともないのに。  
しかし、エホバは彼が打ち砕かれることを望み、彼が苦しむようにしました。  
もしあなたが彼の命を有罪の捧げ物とするなら、  
彼は自分の子孫を見て、長く生きることになり、  
エホバの望まれることは彼を通して成し遂げられます。  
彼は苦悩の結果を見て満足します。  
私に仕える正しい者は、自分の知識によって、  
多くの人々が正しいと見なされるようにし、  
彼らの過ちを負う。

—  
彼が自分の命を捧げて死をも受け入れ、  
違反者たちの1人に数えられたからである。  
彼は多くの人々の罪を担い、  
違反者たちのために仲裁した。 (イザヤ53章)

イエスは刑柱上の死を通して人類の罪を背負い、人類を罪から解放して下さったと聖書は述べています。  
あなたはイエスの犠牲に感謝しますか。私たち人類を滅亡から救うために、非常に苦しみを忍び、命を差し出した方の愛に感謝するのではないのでしょうか。